

～元気の出るエピソード～

先日、在宅介護をされていたご家族様から入院のご相談がありました。「今まで病院や施設に相談をしてきたけれど、どこからも拒否されてしまいどうしたら良いかわからなかった」と涙ぐみながら話されました。

現在入院をされ、ご家族からは、「本当に助かりましたありがとうございました」とお言葉を頂きました。相談員としてお役に立てたとうれしく思いました。小さなことでも大丈夫です。何か困っていることがあれば、いつでも医療相談室へご連絡ください。お待ちしております。

地域医療相談室 三好 伶奈

蓮田よつば病院では、早期退院に向けて、週2日カンパニを実施し、患者様の状態を多職種で共有しております。毎月20人以上の患者様が退院され、みなさまより「落ち着いてくれた」「顔つきがやさしくなった」「よつばさんに入院してよかった」など嬉しいお言葉を沢山いただきます。

職員にとって患者様が落ち着いて退院されていくお姿は、何ものにも代えられない喜びです。これからも認知症でお困りの皆さまのお役にたてるよう取り組んでまいります。

地域医療相談室 金子 淳一

診もり短歌

デイケアの行き来に見る鯉のぼり
天高く鯉のぼり舞う五月空
行き来のバスに見上げつつゆく
Dr.ねぎし

医療法人社団 心の絆

認知症専門病院 蓮田よつば病院

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→



私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくりたい

よつば通信 5月号

発行日 令和6年5月1日

五月晴れの爽やかな日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか
暖くなるこれからの季節は、食中毒が増える時期であるため、今回は食中毒予防についてご紹介いたします。食中毒は、食品や飲料とともに摂取された細菌やウイルスによって発生します。その主な症状には、吐き気、嘔吐、腹痛、下痢などがありますが、特に、体が弱い方や高齢者の場合、脱水などの重篤な症状を引き起こすことがあります。味や臭いで食中毒の原因となる微生物の増加を判断することは難しいため、食中毒は予防が非常に重要です。

食中毒の予防の基本は、原因となる細菌やウイルスを「付けない」「増やさない」「殺菌する」の3原則です。「付けない」ためには、食材に触れる前に石鹸による手洗いをすることが重要です。次に、「増やさない」ためには、食材を低温で保管し、細菌やウイルスの増殖を防ぎます。最後に、「殺菌する」ためには、食品を中心までしっかり加熱し、細菌やウイルスを死滅させることが大切です。

家庭での具体的な対策としては、食品を室温で長時間放置せず、購入後は速やかに冷蔵庫で保管すること、カレーなどの煮込み料理はできる限り当日中に消費し、翌日に食べる場合はしっかり冷蔵保存することが大切です。また生肉や生鮮魚介類を扱う際は、他の食材とは別のまな板を使用することで細菌やウイルスになどの交差汚染を防ぐことができます。

何かご家庭での感染対策にご不明な点がございましたら、当院の感染対策委員会にご相談ください。

薬剤科長 阿部圭吾

外来案内

診療科目	月	火	水	木	金	土・日
午前 認知症外来	鈴木	脇山	脇山	鈴木	鈴木・脇山	休診
	非常勤医師		非常勤医師			
一般内科	窪山・丸山	丸山	窪山	窪山・丸山	窪山	
午後(新患のみ)	※適宜対応	※適宜対応	※適宜対応	※適宜対応	※適宜対応	

※内科受診に関しては、他院での受診をお願いさせていただく場合がございます。

受付時間	診療時間	面会時間
午前	午後	平日(月～金) ※祝日は除く
8:45～11:30	13:00～15:00	2階病棟 15:30～15:40 3階病棟 15:45～15:55 事前予約が必要です
	午前	
	午後	
	9:00～12:00	
	14:00～17:00	

※オンライン面会も引き続き実施しております。

病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～

お電話での予約が必要になります

- ・紹介状
- ・お薬手帳をご持参ください。

予約時間の変更等につきましては、13時以降に外来にお電話下さい

○休診日○

土曜・日曜・祝日は休診になります

蓮田市 毎月第一土曜日 10:00～12:00
認知症カフェ

はすカフェ
蓮田よつば病院 1Fフロアにて実施



～よつばご飯～



※写真は職員食になります。

献立
主食(主菜): 菜の花とあさりのかきたまうどん
副菜: 胡瓜と春雨の和風サラダ
副菜: 春巻き
デザート: 抹茶水ようかん

栄養価
エネルギー: 542kcal
たんぱく質: 16.7g
脂質: 13.7g
炭水化物: 78.6g
塩分: 5.8g

季節を感じることは認知症の患者様にとって良い刺激とも言われています。春は菜の花や桜の季節ですので、食事からも春を感じて頂けたらと思います。菜の花をイメージした麺の提供を行いました。今が旬のあさりも使い、より季節を感じられるようにしました。

管理栄養士 水野俊

蓮田よつば病院 当院は認知症専門の病院です
〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込2163番地
電話: 048-765-7777

医療法人社団 心の絆
よつば訪問看護リハビリステーション
電話: 048-796-5157

蓮田よつば病院
デイケアわかば

看護部の取り組み

医師による勉強会

当院副院長の鈴木医師による「認知症(アルツハイマー型認知症)の治療薬について」の勉強会を開催いたしました。看護師・介護士・相談員などが参加しいつもは聞かことが出来ない基本中の基本をご講義いただきました。

・抗認知症薬には2種類あります。

①コリンエステラーゼ阻害薬(アセチルコリンの分解を抑制し、伝達を活性化)

ドネペジル

ガランタミン

リバスチグミン

②NMDA受容体拮抗薬(グルタミン酸の伝達を調整し、神経を保護)

メマンチン

簡単に説明しますと...

①は、脳内の神経伝達に必要なアセチルコリンをアセチルコリンエステラーゼが分解をしてしまうため、邪魔ものであるアセチルコリンエステラーゼを攻撃してくれる薬。

②は、脳内の神経伝達に関わるグルタミン酸が神経細胞を過剰に刺激し神経を傷つけてしまうため、神経細胞への過剰な伝達を抑える薬。

認知症の進行程度により①の薬剤のみを選択することもあります。①と②を併用することもあります。副作用や認知症の症状により調節が必要なため、患者様を常に観察して行かなければならず、医師のみでなく多職種で患者様にかかわっていくことの大切さを実感いたしました。

今後も医師による勉強会を定期的で開催し、認知症専門病院の職員教育に尽力していきたいと思っております。

看護部長 佐藤 美佐江

～よつば訪問看護リハビリステーション～

作業療法士として勤務しています。利用者様の自宅に訪問し、必要なリハビリを提供することが主な業務なのですがまだ周知不足な面も多く、具体的にはかなり多岐にわたっている為一言では言い表すことができず、「訪問でのリハビリって何をしているの?」と聞かれると内心ちゃんと伝わっているのか心配になりながら答えている状況です。初回訪問前に何をするか、予め分かっていることは2割くらいかもしれません。あと8割は訪問を重ねながら徐々に相手のニーズが掴めてくることもある、ある日突然分かることもあり、自身の力不足を実感する日々です。

例えば、週1回利用されているAさん。歩いてご主人と買い物へ出掛けるようになりたいとのことで依頼があり訪問を開始しました。目的地の店舗はご本人の歩行能力を考慮すると現実的ではなく、ひとまずご自宅近くで歩行練習を開始しました。ももとの精神疾患による気分の浮き沈みが意欲の変動に繋がっており、訪問時は外へ行くと言っている、数分後には何もしたくないとベットへ倒れ込むこともあり、この状況で訪問を継続してもいいのか悩んだ時期もありました。そんなある日、今日は車椅子で例の店舗まで行ってバナナを買いたいと要望があり、外出練習という名目で行くことになりました。ご主人が車椅子を操作する場面を確認しつつ目的地へ到着。店内に入り、目当てのバナナをカゴに入れてレジへ向かう途中、突如本人の手が伸びたと思ったらお団子、カップラーメン、黒毛和牛、その他満杯になるまで次々とカゴへ入れていき、その勢いにご本人の生き生きとした表情にご主人も私も驚きました。帰り道で「ちょっと買いすぎちゃった」と笑って話されたのが印象的でした。その日以降、気持ちの浮き沈みはあるようですが調子の良い日は食事を作ることもあったりと以前よりは活動性も出てきた様子です。歩いて買い物へ行くことに促われていたけれど、視点を変えることで良い方向へ向かうこともあるということをおAさんに教えられた出来事です。

年数を経ても自分の経験不足を実感することは多いですが、少しでも利用者様のニーズに近づくことができるよう広い視野を持ち続けていきたいです。

よつば訪問看護リハビリステーション 砂川 紘子



QOL推進部特集コーナー

認知症予防教室について

地域包括ケアシステムの構築を目指して地域での活動が様々行われていますが、当院では毎月第4土曜日に認知症予防教室を開催しています。作業療法士が行うプログラムを通して、継続的に日常生活の中で取り組める運動や食事への意識づけ、参加者同士の交流や外出のきっかけ作りといった社会的活動の促しができるようにアプローチしています。

教室内容のプログラムとしては主に「脳トレ(認知機能トレーニング)」、「運動(コグニサイズ)」、「ミニ講座」を実施しております。普段人との交流が少なくなっている方もプログラムの中で他の方と協力して声を掛け合ったり、休憩時間に談笑したりする場面が見受けられています。人と交流を持つことは、会話時に相手の言葉を理解したり約束事を記憶したりと様々な脳機能を活用し、認知症予防においても重要な要素の一つになっています。

また日常生活での不安や、認知症に対する不安がある方は少なくないと思っております。そのような方に対しても相談・共有の場になるかと思っておりますので、ぜひお気軽にご参加いただければ幸いです。

作業療法士 加藤 大貴

～よつば病院作業療法風景～

お花見会



誕生日会



今月の予定

- 誕生会 2階・3階病棟
随時おこないます
- 認知症予防教室
5月25日(土)10:00～11:30
- はすカフェ
5月11日(土)10:00～12:00
- 理美容 第2・第3木曜日
- こいのぼり散歩・撮影会
5月上旬予定
- 新茶会 5月中予定